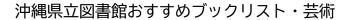
写真集OKINAWA沖縄OKINAWA

新編太陽の鉛筆[1]太陽の鉛筆1975





著者:東松 照明 /写真

出版者:写研 出版年:1969.8 場所:5F郷土閲覧① 請求記号:K/74/TO49 資料番号:1001616927



著者:

出版者:東松 照明 / [撮影]

伊藤 俊治 /編著 今福 龍太 /編著

出版年:2015.12 場所:5F郷土貸出

請求記号:K/74/TO49/1 資料番号:1007854852

. 1

内容紹介

「沖縄に基地があるのではなく基地の中に沖縄がある」 当時の沖縄を一言で表現したような大変印象的なフレーズが表紙に付された写真集。戦後日本の社会的現 実を、"被占領"と"アメリカニゼーション"の二つの視点 で捉えようと試みた意欲作。

内容紹介

戦後日本を代表する写真家東松照明の最高傑作、40年を経て新たに蘇る。『太陽の鉛筆1975』『太陽の鉛筆2015』の2分冊により、歴史化された作品のもつ、写真と思想の可能性を現在に呼び出す批評的な試みです。

メメント・モリ 死を想え



著者:藤原新也/著出版者:朝日新聞出版出版年:2018.12

ISBN:4-02-251571-1

場所: 4F美術書 請求記号: 748/F68

請求記号: '/48/F68 資料番号: 1008842187

写真関係



著者:石内 都 /著 出版者:筑摩書房 出版年:2016.6

ISBN:4-480-81530-9

場所:4F一般閲覧 請求記号:740.4/I81 資料番号:1007984873 「写真家は絶えず消えてなくなってゆく ものを扱う。消滅してしまえば、再び それを取り戻す手段はこの世界には何も ないのだ。」

アンリ・カルティエ=ブレッソン

内容紹介

本当の死が見えないと本当の生も生きられない。死は生のアリバイである-。1983年の刊行以来、多くの読者に読み継がれてきた、リアルな「生」を取り戻させるための「死の書」。さまざまな人生に寄り添ってきたロングセラーが、奇跡の再登場。

内容紹介

写真家は何を見、何を考え、何を写そうと撮影するのか。そもそも写真とはどういうものなのか。約50点の写真と共に、写真家・石内都の個性豊かな言葉が満載のエッセイ集です。

沖縄県立図書館

〒900-0021 沖縄県那覇市泉崎 1-20-1 代表電話 098-894-5858 本の調査・相談ダイヤル 098-894-5881 開館時間 9時~20時 休館日 火曜日、年末年始、特別整理期間





アンリ・カルティエ=ブレッソン 20世紀最大の写真家



著者:クレマン・シェルー /著

出版者:創元社 出版年:2009.4

ISBN:4-422-21203-6

場所:4F一般閲覧

請求記号:740.235/C23 資料番号:1006189599

内容紹介

"決定的瞬間"という言葉で一世を風靡し、2004年に 95歳でこの世を去ったアンリ・カルティエ=ブレッソン。 20世紀最大の写真家の生涯のすべてを、作品ととも に解説したコンパクトな一冊です。

50冊で学ぶ写真表現入門



著者:西垣 仁美 /著 藤原 成一 /著

出版者:日本カメラ社 出版年:2019.2

ISBN:4-8179-2170-3

場所:4F一般閲覧 請求記号:740/N81 資料番号:1009002765

内容紹介

写真を撮る人、写真を考える人、写真を見る人、写真の 歴史を知ろうとする人…。そんな人のために、写真の 必読書50冊を選び、その内容と雰囲気そのままにコン パクトに1冊に集約。写真のおもしろさを伝えるブック レビュー。

死ぬまでに観ておきたい世界の写真1001



著者: ポール・ロウ /編 出版者: 実業之日本社 出版年:2019.2

ISBN:4-408-33837-8

場所:4F一般閲覧 請求記号:740.2/L95 資料番号:1008561266

内容紹介

革新的な芸術作品から世界を変えるようなルポルター ジュまでを収めた、写真の歴史と実際の作品を知るた めのヴィジュアルガイド。各写真の背景にある創作過程 や、視覚的・美的・歴史的重要性を記した解説も掲載し ています。

写真を読む夜 プロフェッショナルのテクニックと視点



著者:山内 宏泰 /著 高橋 恭司[ほか] /[述]

出版者:誠文堂新光社 出版年:2018.12

ISBN:4-416-71831-5

場所:4F一般閲覧 請求記号:740.4/Y46 資料番号:1008843094

内容紹介

気鋭の写真家は、何を感じ何を考えて作品を生み出す のか。高橋恭司、佐内正史、蜷川実花、奥山由之、石田 真澄ら13人の写真家から話を聴き、写真表現の最前 線と未来を探った1冊です。

関連施設

【写真を鑑賞するなら】

◆INTERFACE-Shomei Tomatsu Lab. 沖縄県那覇市牧志1-3-18 エトワール牧志101

TEL:098-862-5588

開館時間:午後1:00~7:00 (月·火·水曜休館)

URL: http://interface.world.coocan.jp

那覇市・牧志パラダイス通りに2019年7月にオープン。 ライブラリーとギャラリーを併設。沖縄で展示する機会が 少なかった東松氏の写真を年数回展示する他、 展示企画やワークショップも予定。 東松照明は戦後日本を代表する写真家の一人で、 1972年沖縄へ移住。1995年紫綬褒章受章。 沖縄や長崎をテーマにした写真集も出版しています。

◆東京都写真美術館

東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内

TEL:03-3280-0099

開館時間:午前10:00~午後6:00 (木・金曜は20:00まで、月曜休館) URL: http://topmuseum.jp/

写真・映像専門の公立美術館。平成28年にリニューアルオープンし、 収蔵する作品は約3万5千点に及びます。

【写真を展示するなら】

◆那覇市民ギャラリー 那覇市久茂地1-1-1 (パレットくもじ6階) TEL:098-867-7663

開館時間:午前10:00~午後7:00

(日曜日は午後5:00から搬出あり。月曜休館)

URL: http://www.palette-kumoji.co.jp/naha/gallery/

写真や絵画など、広く市民に美術活動の 発表の場を提供しています。 3展示室あり、展示室を広く組み合わせることも可能。

◆沖縄県立博物館・美術館 県民ギャラリー 沖縄県那覇市おもろまち3-1-1

TEL:098-941-8200 FAX:098-941-2392 開館時間:午前9時~午後6時(金・土は午後8時まで。月曜休館)

URL https://okimu.jp/

県民に広く発表の場を提供しています。 ギャラリー1.2.3で構成されています。







